

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿

東紀州地域は多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざし、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、地域社会が健全に維持されています。

平成 31 年度末での到達目標

これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大など産業振興が図られています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
東紀州地域における観光消費額の伸び率	/	105	106		106	107
	105	102	/		/	
目標項目の説明と平成 30 年度目標値の考え方						
目標項目の説明	観光旅行者が東紀州地域において支出した観光消費額の平成 26(2014) 年を 100 とした場合の伸び率（雇用経済部観光局観光政策課調べ）					
30 年度目標値の考え方	「三重県観光振興基本計画（平成 28 年度～31 年度）」をふまえ、東紀州地域における観光消費額も段階的に増加させ、平成 31 年におおむね同様の伸び率を確保することをめざして設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
25201 地域の自立に向けた環境整備（地域連携部南部地域活性化局）	地域づくりに取り組む語り部人数	/	88 人	92 人		96 人	100 人
		85 人	88 人	/		/	
25202 地域資源を生かした集客交流（地域連携部南部地域活性化局）	熊野古道の来訪者数	/	435 千人	438 千人		441 千人	450 千人
		352 千人	328 千人	/		/	

活動指標		27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
		25203 地域資源 を生かした産業 振興（地域連携 部南部地域活性 化局）	商談会等におけ る成約件数	/	22 件	24 件	
		21 件	23 件			/	/

現状と課題

- ①東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このため、東紀州地域の5市町と一体となって、地域振興の取組を総合的に進める必要があります。
- ②熊野古道の世界遺産登録を契機に、熊野古道センターや紀南中核的交流施設を整備し、集客交流機能の向上に取り組んだことにより、着実に交流人口の増加、地域の賑わいにつながってきています。今後も、地域において持続的にその役割を果たしていく必要があります。
- ③平成31年の熊野古道世界遺産登録15周年に向けて、地域の市町や関係団体、関係部局等と連携し、熊野古道への来訪を促進する取組をさらに進める必要があります。
- ④伊勢志摩サミットを契機として、東紀州地域の5市町が中心となって地域の関係団体と連携し、新たな観光振興、産業振興の取組が始まっています。こうした取組が地域の活性化につながるよう、引き続き支援していく必要があります。

平成30年度の取組方向

- ①地域のコーディネーターとして地域振興の取組を総合的に推進する役割を担う東紀州地域振興公社を最大限活用し、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進します。
- ②地域との連携を図りながら集客交流を進めるため、熊野古道センターでは、世界遺産熊野古道の価値や周辺地域の魅力の発信、企画展や交流イベントの開催等に取り組めます。また、紀南中核的交流施設では、地域の食材を生かした食事や地域資源を活用した体験プログラムなどをセットにした魅力的な宿泊プランの提供等に取り組めます。なお、紀南中核的交流施設については、整備後10年近く経過したことから、成果を検証するとともに、地元市町の意向も踏まえながら、新たな活用の方向性についてとりまとめます。
- ③熊野古道世界遺産登録15周年に向けて、地域の市町、関係団体等と連携し、熊野古道の価値を次世代に伝える取組や、インバウンドに向けた情報発信、伊勢から熊野までを結ぶ環境づくり等により、国内外からの熊野古道への来訪を一層促進します。
- ④5市町と地域の関係団体が連携して行う観光地域づくりの基盤強化やインバウンドの受入環境整備、地域製品の販路開拓、観光サービスのブラッシュアップなど、地域の活性化につながる新たな取組を支援します。

主な事業

①東紀州地域振興推進事業【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】

予算額：(29) 5,757千円 → (30) 4,029千円

事業概要：東紀州地域振興公社において、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進し、地域の活性化につなげます。

②熊野古道センター運営事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(29) 68,393千円 → (30) 68,365千円

事業概要：熊野古道の価値や地域の魅力を情報発信するため、熊野古道を核とする企画展や地域と連携した交流イベントの開催等を行います。

③紀南中核的交流施設整備事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(29) 285,670千円 → (30) 285,437千円

事業概要：事業者に対して施設整備等にかかる初期投資費用の一部を補助するとともに、成果の検証結果をもとに、今後の事業運営について検討し、方向性を定めます。

④(一部新)熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(29) 22,024千円 → (30) 19,440千円

事業概要：熊野古道世界遺産登録15周年に向けて、子どもや若者等を対象とした保全活動体験など熊野古道の価値を次世代に伝える取組、伊勢路ナビやスマホ向けスタンプラリーなど伊勢から熊野までの観光スポットを紹介しつつ取組、英語によるモデルコースや交通アクセスの案内など具体的な情報発信等を進めます。

⑤(一部新)世界に拓く東紀州観光地域づくり支援事業

【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】

予算額：(29) 2,854千円 → (30) 9,200千円

事業概要：東紀州地域の市町等が連携して行うインバウンドを軸とした観光地域づくりの取組を促進するため、外国人アドバイザーによる新たな魅力の発掘、観光案内所等の外国語対応の充実等を図るとともに、こうした観光地域づくりを担う観光専門人材の育成等を支援します。

⑥(一部新)選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業

【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】

予算額：(29) 6,384千円 → (30) 12,000千円

事業概要：東紀州地域の市町や関係団体が連携して行う地域産品の高付加価値化や販路拡大等、選ばれる東紀州地域をめざす取組を支援します。また、観光サービスのブラッシュアップ等、来訪者の満足度の向上を図る取組を支援します。